

おひさま通信



☀️ ごあいさつ

理事長 田中 紀代美

おひさまが誕生して18年経ちました。NPO 法人になって15年目です。NPO 法人としての活動開始の時期はちょうど発達障害者支援法の施行と同時期でした。近年「障がい者差別解消法」や「障がい者虐待防止法」と障がい者に関する法律が出来、少しは子どもたちにとって暮らしやすい環境ができたでしょうか。虐待をされても虐待と認識できない子どもたちも多いと思うと、親はどうすればいいのかと悩みます。合理的配慮により肢体不自由・視覚障害・聴覚障害などの方達にとっては社会参加や生活がしやすくなったと感じています。見た目でわからない子ども達にはどうでしょうか。順番待ちが苦手な子ども達に少しでも周囲が理解してくれると、親も苦痛な時間から解放されますね。まだまだ当事者や保護者が訴えないとわからないこともたくさんあります。市の担当窓口もあります。是非相談して一つずつ解決していきましょう。もちろんおひさま生活塾の「にこにこカフェ」でも相談に乗ります。

障害があることで我慢しなくてもいいような、平等な社会が早く来ることを祈っています。



宇部総合支援おひさまクラブ



実行委員一同

今年のおひさまクラブは、宇部総合支援学校の校舎建て替え工事のため旧校舎が使えず、朝の会の場所が変わり、混乱した利用者さんがいて、事前の説明ができてなかったことを深く反省しました。ごめんなさい。でも納得するように説明すると、子どもたちもいつものようにボランティアと一緒に楽しんでくれてホッとしました。

今回は宇部警察署の交通課から婦警さんや応援スタッフさんが来られ、体育館での交通ルール遊びやマジックでの演技で楽しく過ごすことができました。



療育では初期のおひさまクラブからずっと子どもたちの成長を見守っていただいているアート教室・音楽セラピーまた毎年楽しみにしてきてくださる昔懐かしお手玉の会・絵本の読み聞かせ・芸術の世界を広げてくださる先生方、本当に感謝です。

簡易型プールも渡り廊下を利用して、部屋からあまり離れないところでもできたのも、工事車両の出入りを心配していたので、ホッとしました。例年通りボランティアさんもホースで水をかけられ、頭からずぶぬれになりながらも笑顔で一緒に楽しんでくれました。

一年一年と子どもたちが成長しているのがよくわかるのがおひさまクラブです。





「川上おひさまクラブ」



今年は、おひさまクラブにボランティアとして参加して頂いた生徒さんに、感想をいただいたものの中から紹介させていただきます。



ボランティア 佐々木 菜緒



兄妹児童としておひさまクラブに参加したことは何度もありましたが、ボランティアとして参加するのは今年で2度目のことでした。去年はどうやって活動すればよいかわからず、戸惑うことが多かったのですが今年は自分なりに納得できる活動をする事ができたと思います。例えば自分から積極的に声掛けをすることで、担当した子と楽しく話ができて、仲良くなれてとても嬉しく感じました。午前中はプール、午後はその日のプログラムに合わせ、絵本の読み聞かせを見たり楽器を使って遊びました。他

の日のプログラムも楽しそうの一つ一つ考えられてあり、飽きることのない工夫でみんなが笑顔になっていると思いました。来年は受験生なので、参加は難しく残念ですが、大学生になったらまたおひさまクラブに行きたいと思っています。



サンデークラブ



2017年 サンデークラブ実施日

今年の活動も毎月の季節感を出す工作をしています。

お母さん方には「子どもの作品を飾ってますよ」と言ってもらおうと私たちも嬉しくなってきました。学生ボランティアさんが考えた工作もしました。兄弟のように接してもらい、子どもたちも楽しく過ごしています。学生ボランティアさんはフロンティア大学のFクローバーというサークルのみなさんです。部長さんの感想を紹介したいと思います。

4月17日	8月21日	12月11日
5月8日	9月11日	1月15日
6月19日	10月9日	2月12日
7月10日	11月13日	3月12日

「サンデークラブでの感想」

Fクローバー 岡田 有加

私は1年間のサンデークラブで、障害のあるお子さんや家族の方達と工作や運動などの催し物や、リクレーションを通して関わってきました。最初は戸惑うことも多かったのですが、周りのサポートと、今何が必要なかを考えて行動することにより、様々な経験を現場で学ぶことができました。

普段の生活では、障害のある方と関わる機会があまりないので、ボランティアという形で交流を持たたことは貴重な体験となり、参加できたことに感謝しています。社会人となれば、今の環境よりも接する機会が多くなるので、ボランティアで学んだことを役立てていこうと思います。

サンデークラブでの作品





弘津 桃子



皓太郎はにこにこクラブには支援学校の小学部から初期メンバーとしてずっとお世話になっていきます。学生の間は夏休みや冬休みなど、当時は預かってもらえるところは少なく本当に助かったものです。いつも息子のことを温かく見守っていただけて、私にとっても安心してお願いできる場所です。ただ今本人も22歳になり、部屋に閉じこもり一人でCDを聴いたりビデオやゲームが好きなので、なかなか楽しみとは言えないのが難ですが…。

支援学校時代には団体行動を通して我慢と忍耐も覚えたと思いますが、心は昔のまま身体だけ成長

するにつれ思春期もあるのか？反抗することも増えました。家族には特に甘えもあるのかもしれませんが、でも外では少しは遠慮できるようですので、月1回家族の買い物やリフレッシュも兼ねてお世話になることにしています。こんな皓太郎ですが、これからもよろしくお願ひします。



保育士 花岡 泉

昨年11月からわくわくクラブで支援員をさせていただいています、花岡泉と申します。

今年度から週2日、火曜日と木曜日に活動の幅を広げました。

毎回子どもたちは宿題や課題に一生懸命取り組んでいます。わが子も一緒に学習をしますが、おしゃべりが大好きな子で、他の子どもさんはさぞかし迷惑なことでは、と冷や冷やしています。しかしそんなうちの子も達にはビクともせず学習に取り組んでいる姿に感心しています。

学習が終わるとおやつタイム。ほっと顔がほころぶ瞬間です。私も一緒に一息です。

そんな「わくわくクラブ」ですが、これからも子ども達に寄り添い一歩一歩出来る喜びを共に感じていけるよう、支援していきたいと思ひます。



2016年度 活動報告



2016年4月
～2017年3月

サンデークラブ

開催場所: 宇部総合支援学校
開催日: 毎月第2日曜日



2016年8月

おひさまクラブ

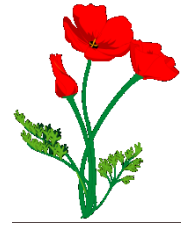
開催場所: 宇部総合支援学校・川上小学校
開催日: 宇部総合支援学校 6日間・川上小学校 6日間

2016年4月
～2017年3月

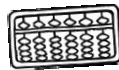
にこにこクラブ

開催場所: おひさま館(厚南北三丁目18-12)
開催日: 日曜日以外毎日(お盆休み・年末年始を除く)

2016年4月 ～2017年3月	わくわくクラブ 開催場所: 第2おひさま館(松崎町3-6) 開催日: 毎週火曜日
2016年10月	探検クラブ アクトビレッジおの
2016年4月 ～2017年3月	にこにこカフェ (月2回)
2016年4月 ～2017年3月	発達障害児を支えるネットワーク協議会 (年間 7回)
2016年4月	発達障害啓発 トキワウォーク 参加 「おひさま生活塾」総会
2016年 11月	宇部市障がい者福祉推進事業による公開講座



2016年度 決算収支



収入 5,092,897 円

支出 4,809,230 円

【寄付】

山本プロモーター	18,324 円
宇部興産機械部労働組合	45,000 円

【助成金・補助金】

宇部市障がい者福祉推進事業	宇部市障害福祉課	282,050 円
---------------	----------	-----------

編集後記

おひさま生活塾の活動が始まってほぼ 20 年がたちます。その間、いろいろな方から力を貸していただきました。“おひさまクラブ”は、夏休みの当たり前の行事として子ども達の生活に定着してきました。また、“にこにこクラブ”や“わくわくクラブ”は放課後、寛いだり、学んだりできる場として大切な場所になっています。このように、NPO 法人として多様な活動を続けてこられたのは、子ども達の保育や学習を支えるスタッフや、運営に力を注いでこられた理事長は

じめとする実行委員の皆さんのおかげだと思います。

近年、宇部市内にも、こうした子ども達の余暇時間を支える大切な場所が徐々に増えてきました。子どものそれぞれの興味・関心を満足させ、より多くの友達と関わることのできる場所が、もっともっとたくさんできるといいなと思います。そのことが、将来の生活の選択肢を増やすことになるのではないのでしょうか。

おひさま生活塾ホーム (<http://ohisama-seikatu-jyuku.jimdo.com/>)

